

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-01	
施設名	南千住区民事務所			
所在地	南千住七丁目1番1号アクレスティ南千住2階			
部課名	区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
	建築 増改築①		国・都	区債
	増改築②			一般財源
併設施設				
竣工年月日	平成22年2月1日		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成22年3月29日	職員数	16	
構造	SRC造	階層	地上28階、地下1階建のうちの2階部分	
面積	敷地面積	アクレスティ南千住敷地面積		
	延床面積	182.55㎡		
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則			
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ○ 点字ブロック	● だれでもトイレ ● スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮納)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、葬祭費受付事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜産登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分(水曜日は午後7時まで)				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(毎月第2・4日曜日は午前9時～正午まで開所)				
施設基本データ等	取扱件数(件)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開所日数(日)	34,214	41,561	45,063	44,360	41,300
に指定 管理 費用						
備考						

III 財務諸表

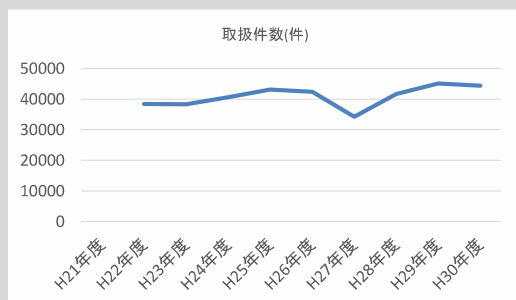
(単位:千円)

	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
		行政コスト計算書	行政費用	118,778		97,966	▲ 20,812	行政収入
貸借対照表	流動資産	54,444	52,569	▲ 1,875	流動負債	4,189	4,373	184
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	69,444	69,444	0	賞与引当金	4,189	4,373	184
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	▲ 15,000	▲ 16,875	▲ 1,875	固定負債	74,190	66,407	▲ 7,783
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	74,190	66,407	▲ 7,783
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	78,379	70,780	▲ 7,599
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 23,935	▲ 18,211	5,724
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 23,935	▲ 18,211	5,724
	資産の部合計	54,444	52,569	▲ 1,875	負債及び正味財産の部合計	54,444	52,569	▲ 1,875
	備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。補助費等には、アクレスティ南千住管理組合への管理費が含まれている。						

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	19	22	24.3	22.0
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	9.0	9.0	9.0	9.0
	1㎡当たりコスト(円)	-	579,164	650,660	536,653	589,000
	人にかかるコストの割合(%)	-	95	94	94	94
	取扱1件当たりコスト(円)	-	2,544	2,636	2,208	2,500
	開所1日当たりコスト(円)	-	395,979	443,201	364,186	401,000
	ガス使用量(m³)	-	-	-	-	-
	水道使用量(m³)	-	84	84	84	84
	CO2排出量(t)	-	7	6.6	6.6	7
	ごみ排出量(kg)※南千住駅前ふれあい館分含む	-	2,688	2,596	2,596	2,596
備考	電気供給事業者の変更によって電気料金が下がり、開所1日あたりのコストが減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 34,214	— 41,561	— 45,063	— 44,360
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 ○アクレスティ南千住管理組合と調整を図りながら、管理運営を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○今後も、アクレスティ南千住管理組合と調整を図っていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-02		
施設名	町屋区民事務所				
所在地	町屋二丁目8番9号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築 増改築① 増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和41年3月23日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和41年4月4日	職員数	12		
構造	RC造	階層	地上3階		
面積	敷地面積	165.81㎡			
	延床面積	300.25㎡			
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター <input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> だれでもトイレ <input checked="" type="radio"/> スロープ	
駐輪場の状況	10台				



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮納付)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、葬祭費受付事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等	取扱件数(件)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開所日数(日)	41,277	40,434	40,582	38,474	40,200
		243	243	244	245	240
に指定 する 管理 費						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

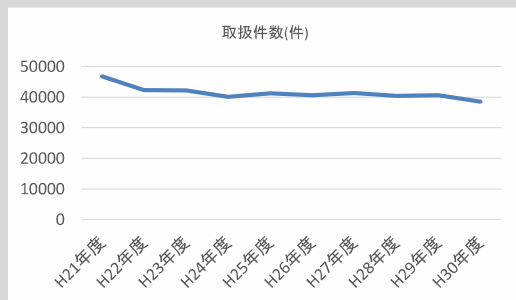
行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	76,610	78,315	1,705	地方税等	0	0	0
	物件費	3,638	3,802	164	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	129	816	687	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	12	12	0	使用料及び手数料	9,842	9,444	▲ 398
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,842	9,444	▲ 398
	賞与・退職給与引当金繰入額	21,219	3,919	▲ 17,300	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 93,062	▲ 77,517	15,545
	その他行政費用	1,296	97	▲ 1,199	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	102,904	86,961	▲ 15,943	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 93,062	▲ 77,517	15,545
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 93,062	▲ 77,517	15,545
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	3,660	3,919	259
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	6,500	6,500	0	賞与引当金	3,660	3,919	259
	土地	6,500	6,500	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	14,300	14,300	0	固定負債	64,820	59,510	▲ 5,310
	建物減価償却累計額	▲ 14,300	▲ 14,300	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	64,820	59,510	▲ 5,310
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	68,480	63,429	▲ 5,051
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 61,980	▲ 56,929	5,051
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 61,980	▲ 56,929	5,051
資産の部合計	6,500	6,500	0	負債及び正味財産の部合計	6,500	6,500	0	
備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。							

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100	100	100	100
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	64	64	63.8	64
	1㎡当たりコスト(円)	-	311,133	342,728	289,629	314,000
	人にかかるコストの割合(%)	-	97	95	95	95
	取扱1件当たりコスト(円)	-	2,310	2,536	2,260	2,400
	開所1日当たりコスト(円)	-	384,435	421,738	354,943	387,000
	ガス使用量(m³)	-	65	68	68	68
	水道使用量(m³)	-	178	181	181	181
	CO2排出量(t)	-	13	13	12.7	13
	ごみ排出量(?)	-	2,189	2,911	2,911	2,900

備考 賞与・退職給与引当金繰入額が減少していることにより開所1日当たりのコスト等が減少している。

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 41,277	— 40,434	— 40,582	— 38,474
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○漏水等施設の老朽化が進み、全体的に狭く、バリアフリー化が進んでいない。 ○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 ○区民が快適に利用できるようにバリアフリー化に努め、誰もが利用しやすい機能の確保に努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○建替えも含め検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-03	
施設名	尾久区民事務所			
所在地	西尾久三丁目7番15号			
部課名	区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
建築				
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和50年12月25日		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	13	
構造	RC造	階層	地上3階	
面積	敷地面積	250.63㎡		
	延床面積	444.00㎡		
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則			
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ
駐輪場の状況	10台		<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮納)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、葬祭費受付事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等	取扱件数(件)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開所日数(日)	35,780	34,249	35,530	33,717	34,800
に指定 等管理		244	243	243	244	245
備考						

III 財務諸表

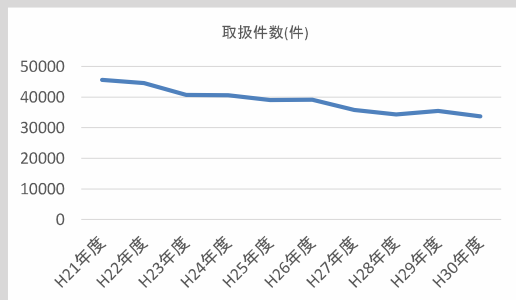
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	給与関係費	76,125	76,752	627	地方税等	0	0	0
	物件費	3,359	3,542	183	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	54	227	173	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	6	6	0	使用料及び手数料	8,274	8,273	▲1
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,274	8,273	▲1
	賞与・退職給与引当金繰入額	21,085	3,840	▲17,245	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲92,355	▲76,191	16,164
	その他行政費用	0	97	97	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	100,629	84,464	▲16,165	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲92,355	▲76,191	16,164
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲92,355	▲76,191	16,164	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	3,637	3,840	203
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	41,664	41,664	0	賞与引当金	3,637	3,840	203
	土地	41,664	41,664	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	78,290	78,290	0	固定負債	64,409	58,323	▲6,086
	建物減価償却累計額	▲78,290	▲78,290	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	1,287	1,287	0	退職給与引当金	64,409	58,323	▲6,086
	工作物等減価償却累計額	▲1,286	▲1,286	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	68,046	62,163	▲5,883
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲26,382	▲20,499	5,883
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲26,382	▲20,499	5,883	
資産の部合計	41,664	41,664	0	負債及び正味財産の部合計	41,664	41,664	0	
備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。							

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	52.0	52.0	52.0	52.0
	1㎡当たりコスト(円)	-	209,717	226,642	190,234	208,900
	人にかかるコストの割合(%)	-	96	97	95.4	96.0
	取扱1件当たりコスト(円)	-	2,621	2,926	2,505	2,684
	開所1日当たりコスト(円)	-	383,187	412,414	346,164	380,600
	ガス使用量(m³)	-	46	46	46	46
	水道使用量(m³)	-	206	195	195	199
	CO2排出量(t)	-	15	15	14.5	15
	ごみ排出量(?)	-	3,690	3,410	3,410	3,410
	備考	賞与・退職給与引当金繰入額が減少していることにより、開所1日当たりのコスト等が減少している。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 35,780	— 34,249	— 35,530	— 33,717
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	<input type="radio"/> 施設の老朽化が進み、全体的に狭く、駐輪場が不足しており、バリアフリー化が進んでいない。 <input type="radio"/> 施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 <input type="radio"/> 区民が快適に利用できるようなバリアフリー化の推進や駐輪場の確保に努め、誰もが利用しやすい機能の確保に努める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○建替えも含め検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-04		
施設名	仮設日暮里区民事務所				
所在地	東日暮里六丁目19番12号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築					
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成26年3月16日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成26年4月14日	職員数	12	0人	
構造	RC造	階層	地上2階		
面積	敷地面積	536.12㎡			㎡
	延床面積	435.12㎡			㎡
設置目的・経緯	地域にある身近な行政窓口として住民関係諸証明の受付等を行い、区民の利便性向上を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区庁舎管理規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー 対応状況	●エレベーター ●点字ブロック	●だれでもトイレ ●スロープ	
駐輪場の状況	30台				



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から -	まで
事業内容	住民基本台帳事務、印鑑登録事務、戸籍謄抄本等交付事務、税務(収納・証明・仮納付)事務、住居表示諸証明事務、国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険事務、国民年金事務、葬祭費受付事務、乳幼児・子ども医療に関する事務、母子健康手帳交付事務、畜犬登録事務、建物新築・変更届事務、ひろば館・ふれあい館(貸室受付・団体登録)事務、地域団体(町会・青少年育成地区委員会等)補助金交付・連絡事務					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始				
施設基本データ等	取扱件数(件)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開所日数(日)	39,131	40,612	40,376	40,023	40,000
に指定管理 等に係る費用		243	243	244	245	240
備考						

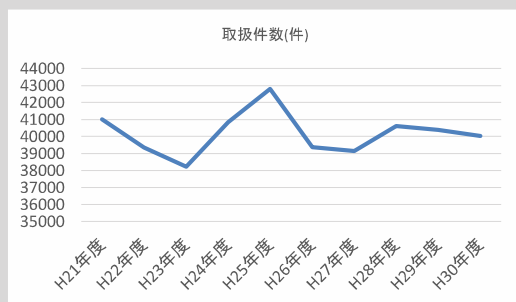
III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)		
		H29年度	H30年度	差額			H29年度	H30年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	80,949	83,424	2,475	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	3,190	3,185	▲5		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	126	0	▲126		都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	12	12	0		使用料及び手数料	8,690	8,935	245
		減価償却費	2,324	0	▲2,324		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	8,690	8,935	245
		賞与・退職給与引当金繰入額	22,421	4,174	▲18,247		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲100,332	▲81,957	18,375
		その他行政費用	0	97	97		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	109,022	90,892	▲18,130		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲100,332	▲81,957	18,375
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲100,332	▲81,957	18,375			
貸借対照表	固定資産	勘定科目			勘定科目			勘定科目		
		収入未済	0	0	0	流動負債	19,572	4,174	▲15,398	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		有形固定資産	584,010	660,786	76,776	賞与引当金	3,867	4,174	307	
		土地	584,010	584,010	0	その他の流動負債	15,705	0	▲15,705	
		建物	0	76,776	76,776	固定負債	68,490	63,393	▲5,097	
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		工作物等	2,973	2,973	0	退職給与引当金	68,490	63,393	▲5,097	
		工作物等減価償却累計額	▲2,972	▲2,972	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	88,062	67,567	▲20,495			
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	572,733	593,219	20,486			
その他の固定資産	76,785	0	▲76,785	正味財産の部合計	572,733	593,219	20,486			
資産の部合計	660,795	660,786	▲9	負債及び正味財産の部合計	660,795	660,786	▲9			
備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費が大部分を占めている。 貸借対照表の有形固定負債は、日暮里区民事務所(建物)の賃借料である。									

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	3.7	19
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	100.0	100.0	3.7	19
	1㎡当たりコスト(円)	-	219,079	250,556	208,890	226,000
	人にかかるコストの割合(%)	-	95	95	96.4	96.0
	取扱1件当たりコスト(円)	-	2,347	2,700	2,271	2,400
	開所1日当たりコスト(円)	-	392,287	446,811	370,988	403,000
	ガス使用量(m³)	-	-	-	-	-
	水道使用量(m³)	-	171	177	177	177
	CO2排出量(t)	-	11	11	10.9	11
	ごみ排出量(?)	-	3,195	2,925	2,925	2,925
備考	退職給与引当金繰入額が減少していることにより、開所1日当たりのコスト等が減少している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	取扱件数(件)	目標値 実績値	— 39,131	— 40,612	— 40,376	— 40,023
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ● 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	幅広い行政サービスを提供する地域の身近な行政窓口					
現状・課題	○区民が快適に利用できるように誰もが利用しやすい機能の確保に努める。 ○日暮里地域活性化施設への移転を見据えながら、区民の利用に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○区民の更なる利便性の向上に資するため、日暮里地域活性化施設の関連部署で連携し、新しい区民事務所の整備を進めていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-05		
施設名	南千住区民事務所西部ひろば館				
所在地	南千住一丁目19番13号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築 増改築①		国・都	区債	一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和42年3月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和42年4月1日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階		
面積	敷地面積	202.82㎡			
	延床面積	361.64㎡			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	15台		<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	-	-	-	-	-
		359	359	359	359	359
に指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目		
		H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	1,644	1,630	▲ 14	国庫支出金	0	0
	維持補修費	164	266	102	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	185	167
	減価償却費	428	428	0	その他	107	110
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	292	277
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,944	▲ 2,047
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	2,236	2,324	88	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,944	▲ 2,047
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,944	▲ 2,047
	貸借対照表	収入未済	0	0	0	流動負債	0
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0
有形固定資産		15,641	15,213	▲ 428	賞与引当金	0	0
土地		215	215	0	その他の流動負債	0	0
建物		31,184	31,184	0	固定負債	0	0
建物減価償却累計額		▲ 15,758	▲ 16,186	▲ 428	特別区債	0	0
工作物等		630	630	0	退職給与引当金	0	0
工作物等減価償却累計額		▲ 630	▲ 630	0	その他の固定負債	0	0
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	0	0
建設仮勘定		0	0	0	正味財産	15,641	15,213
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計	15,641	15,213
資産の部合計		15,641	15,213	▲ 428	負債及び正味財産の部合計	15,641	15,213
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。固定資産の建物の価格が残っているのは、平成28年度に外壁及び屋上防水改修工事を行ったためである。						

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	50	52	52.9	54
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	32	32	32	32
	1㎡当たりコスト(円)	-	6,166	6,183	6,426	8,360
	経費に占める収入の割合(%)	-	13.0	13	11.9	16
	開館1日当たりコスト(円)	-	6,212	6,228	6,474	8,420
備考	維持補修費が微増したことにより、開館1日当たりのコストが微増している。令和元年度は照明器具の修繕が予定されており、開館1日当たりコストが上昇する予定である。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	—	目標値	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input checked="" type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	<p>○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。</p> <p>○利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。</p>					
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-06		
施設名	町屋区民事務所ひろば館				
所在地	町屋二丁目8番9号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築 増改築①		国・都	区債	一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和41年3月23日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和41年4月4日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階建のうち2階部分		
面積	敷地面積	町屋区民事務所敷地内			
	延床面積	48.00㎡(貸室面積) ㎡			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	-	-	-	-	-
		359	359	359	359	359
に指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

		(単位:千円)					(単位:千円)		
		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	11	59	48	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	441	441	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	184	174	▲ 10
		減価償却費	0	0	0	その他	87	86	▲ 1
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	271	260	▲ 11
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	260	▲ 240	▲ 500
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	11	500	489	通常収支差額(c)+(d)=(e)	260	▲ 240	▲ 500
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	260	▲ 240	▲ 500
		貸借対照表	資産	流動資産	0	0	0	流動負債	0
収入未済	0			0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0			0	0	特別区債	0	0	0
その他の流動資産	0			0	0	賞与引当金	0	0	0
有形固定資産	0			0	0	その他の流動負債	0	0	0
土地	0			0	0	固定負債	0	0	0
建物	0			0	0	特別区債	0	0	0
建物減価償却累計額	0			0	0	退職給与引当金	0	0	0
工作物等	0			0	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0			0	0	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0			0	0	正味財産	0	0	0
建設仮勘定	0			0	0	正味財産の部合計	0	0	0
その他の固定資産	0			0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0
資産の部合計	0	0	0						
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料である。貸借対照表の固定資産については、町屋区民事務所に記載している。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	4,750	229	10,417	10,000
	経費に占める収入の割合(%)	-	87	2,464	52.0	50.0
	開館1日当たりコスト(円)	-	635	31	1,393	1,337
備考	H29年度に組織改正を行い光熱水費や委託料等の配分が皆減したため、単位面積当たりのコストが大きく減少している。H30年度はH29年度に比べ施設の老朽化によって修繕費が増加し、コストが上昇している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)						
目標指標	指標名・単位		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
		目標値	—	—	—	—	—
		実績値	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供						
現状・課題	<input type="radio"/> 施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 <input type="radio"/> 利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 <input type="radio"/> 貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 建替えも含め検討していく。 <input type="radio"/> 施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。						
議会、利用者等からの意見							

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-07	
施設名	東尾久ひろば館			
所在地	東尾久三丁目5番3号			
部課名	区民生活部区民課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
建築				
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和46年3月31日		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	昭和46年4月26日	職員数	0人	0人
構造	RC造	階層	地上4階	
面積	敷地面積	208.69㎡		
	延床面積	335.35㎡		
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱			
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター <input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> だれでもトイレ <input checked="" type="radio"/> スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	-	-	-	-	-
		359	359	359	359	359
に指定 等管理 費						
備考						

III 財務諸表

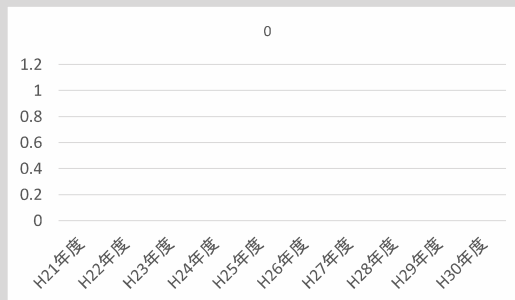
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	H29年度	H30年度	差額		H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	1,484	1,704	220	国庫支出金	0	0
	維持補修費	460	47	▲ 413	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	317	346
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	317	346
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,627	▲ 1,405
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	1,944	1,751	▲ 193	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,627	▲ 1,405
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,627	▲ 1,405
	貸借対照表	収入未済	0	0	0	流動負債	0
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0
有形固定資産		69	69	0	賞与引当金	0	0
土地		69	69	0	その他の流動負債	0	0
建物		29,281	29,281	0	固定負債	0	0
建物減価償却累計額		▲ 29,281	▲ 29,281	0	特別区債	0	0
工作物等		0	0	0	退職給与引当金	0	0
工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債	0	0
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	0	0
建設仮勘定		0	0	0	正味財産	69	69
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計	69	69
資産の部合計		69	69	0	負債及び正味財産の部合計	69	69
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。						

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	58	58	57.5	58
	1㎡当たりコスト(円)	-	5,672	5,797	5,221	11,190
	経費に占める収入の割合(%)	-	14	16	19.8	9
	開館1日当たりコスト(円)	-	5,298	5,415	4,877	10,500
備考	施設の修繕費の減少により開館1日当たりのコストが微減となっている。令和元年度は照明器具の修繕が予定されており、開館1日当たりコストが上昇する予定である。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	—	—	—	—	—	—
	目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input checked="" type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	<p>○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。</p> <p>○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。</p>					
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-08		
施設名	宮の前ひろば館				
所在地	東尾久五丁目45番11号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築					
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和44年3月22日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和44年6月1日	職員数	0人		
構造	RC造	階層	地上4階建のうち1階部分		
面積	敷地面積	308.46㎡			
	延床面積	185.22㎡			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	-	-	-	-	-
		359	359	359	359	359
に指定 等管理 費						
備考						

III 財務諸表

		(単位:千円)					(単位:千円)		
		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	1,199	1,102	▲ 97	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	137	66	▲ 71	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	127	107	▲ 20
		減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	127	107	▲ 20
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,209	▲ 1,061	148
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	1,336	1,168	▲ 168	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,209	▲ 1,061	148
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,209	▲ 1,061	148
		貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0
不納欠損引当金	0			0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産	0			0	0	特別区債	0	0	0
有形固定資産	41			41	0	賞与引当金	0	0	0
土地	41			41	0	その他の流動負債	0	0	0
建物	15,169			15,169	0	固定負債	0	0	0
建物減価償却累計額	▲ 15,169			▲ 15,169	0	特別区債	0	0	0
工作物等	0			0	0	退職給与引当金	0	0	0
工作物等減価償却累計額	0			0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0			0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0			0	0	正味財産	41	41	0
その他の固定資産	0			0	0	正味財産の部合計	41	41	0
資産の部合計	41			41	0	負債及び正味財産の部合計	41	41	0
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料(清掃等)である。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	60.0	60.0	60.0	60.0
	1㎡当たりコスト(円)	-	21,110	7,213	6,306	15,000
	経費に占める収入の割合(%)	-	5	10	9.2	22
	開館1日当たりコスト(円)	-	10,891	3,721	3,253	7,700
備考	維持補修費の減少に伴って単位面積当たりのコストが減少している。令和元年度は照明器具の修繕が予定されており、開館1日当たりコストが上昇する予定である。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	—	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他()	<input type="radio"/> 他施設との統合	<input checked="" type="radio"/> 廃止		
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供					
現状・課題	<p>○施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。</p> <p>○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>○貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。</p> <p>○敷地東側の道路拡幅が計画されており、整備計画の検討が課題である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。</p> <p>○建替えも含め検討していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-01-09		
施設名	尾久区民事務所ひろば館				
所在地	西尾久三丁目7番15号				
部課名	区民生活部区民課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築 増改築①		国・都	区債	一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和50年12月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和51年2月2日	職員数	0人	0人	
構造	RC造	階層	地上3階建のうち2・3階部分		
面積	敷地面積	尾久区民事務所敷地内 m ²			
	延床面積	111.51 m ² (貸室面積) m ²			
設置目的・経緯	地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	貸室事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	開館日数(日)	-	-	-	-	-
		359	359	359	359	359
に指定管理 に係る費用						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	H29年度	H30年度	差額		H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	51	52	1	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	296	296	都支支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	198	219
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	198	219
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	147	▲129
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	51	348	297	通常収支差額(c)+(d)=(e)	147	▲129
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	147	▲129
	貸借対照表	収入未済	0	0	0	流動負債	0
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0
有形固定資産		0	0	0	賞与引当金	0	0
土地		0	0	0	その他の流動負債	0	0
建物		0	0	0	固定負債	0	0
建物減価償却累計額		0	0	0	特別区債	0	0
工作物等		0	0	0	退職給与引当金	0	0
工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債	0	0
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計	0	0
建設仮勘定		0	0	0	正味財産	0	0
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計	0	0
資産の部合計		0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0
備考	行政費用では、無人館のため、給与関係費は0円になっている。物件費の内訳は、光熱水費や委託料である。貸借対照表の固定資産については、尾久区民事務所に記載している。						

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-	-
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	-
	1㎡当たりコスト(円)	-	9,972	457	3,121	3,100
	経費に占める収入の割合(%)	-	25	388	62.9	63
	開館1日当たりコスト(円)	-	3,097	142	969	963
備考	H29年度に組織改正を行い光熱水費や委託料等の配分が皆減したため、単位面積当たりのコストが大きく減少している。H30年度はH29年度に比べ施設の老朽化によって修繕費が増加し、コストが上昇している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)						
目標指標	指標名・単位		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
		目標値	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活動ができる場の提供						
現状・課題	<input type="radio"/> 施設・設備の老朽化により、計画的な修繕を行う必要がある。 <input type="radio"/> 利用者実態に応じた施設の維持管理を行っていく必要がある。 <input type="radio"/> 貸室専門のひろば館で多用途の利用があり、利用者マナーの徹底が課題である。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 建替えも含め検討していく。 <input type="radio"/> 施設の現状を把握し、適切な修繕、利用者へのマナー順守のための注意喚起を行う。						
議会、利用者等からの意見							